



青き楓

島高だより
平成26年10月号
(通巻第103号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長随想 湧水抄

落ちない「楓」

校長 北浦 剛資



島高生の「S」は「Stoic」のS。秋たけなわ、鮮やかな紅葉の季節を迎えた。

■玄関にスクールツリー

本館玄関前左右のミニ庭園は、10年ほど前、第56回生の卒業記念として整備されたものである。ホルトノキの巨木やソテツなど何種類かある中に、校章を意識してスクールツリーともいふべき「カエデ」が3本植えられている。年間を通して暑い日も寒い日も毎朝清掃活動に励む剣道部員たちへの感謝の思いで、私も玄関に立ってその様子を眺めるのが常である。毎日同じことを繰り返すと、その中で気がつくことも多い。落ち葉は寒い季節の風物詩と思いがちだが、春にも結構な量の葉が落ちる。剪定して丸坊主になったソテツの葉の、成長の速さには驚くばかりだ。風の吹きようで葉っぱが溜まる場所が変わる。雨水を大量に含むと、細い枝はしなって全体の見た目が変わる。

■しぶとく、たくましく

3本のカエデに注目すると、玄関から見て左手前の木が他の2本より幹が太く、樹齢も長いように見える。その木が最も早く紅葉し、2本が葉を落としてしまっても、まだ紅葉が残っている。やがて冬枯れを迎え、鮮やかだった朱もくすんだ褐色に変わってしまうが、何とその木の枯れ葉の一部は、落ちずに木の枝にとどまっているのである。1週間や2週間ではない。翌春になって若葉が芽吹いてきてからも、まだとどまったままである。何というしぶとさ、何というしたたかさ。「青き楓たち」と呼ばれ、ほとんどが大学等の入試に挑む島高生たちにとって、縁起を担ぐ意味でも「落ちない楓」は貴重だし、ぜひ見習ってもらいたい木の有り様である。それは目先の大学入試だけではなく、遠い将来にわたってたくましく生きることへの暗示かもしれない。1度や2度の失敗に挫けることなく、力強く人生を歩むことへのエールかもしれない。たかが1本の楓かもしれないが、スクールツリーであるがゆえに、されど1本の楓なのである。

11月の主な行事予定

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1日(土) 開校記念日 | 11日(火) 県総文祭(諫早市) |
| 英語ディベート大会(本校) | 12日(水) 生活実態調査・PTA アンケート |
| ハイレベル模試(1年) | 15日(土) 大学別オープン模試(~16日) |
| 大学別オープン模試(~2日) | 県新人戦(剣道) |
| 4日(火) 中学校保護者入試説明会(有家) | 地区新人戦(バスケット会場) |
| 県高校駅伝大会(~5日) | 17日(月) 地学セミナー(巡検) |
| 5日(水) 中学校保護者入試説明会(本校) | 学校評価(保護者回答締切) |
| 6日(木) 理数科(2年)課題研究中間発表 | 18日(火) 体育部活動生支援学習会(~20日) |
| 授業公開(~10日) | 小論文講演会(1年) |
| 7日(金) 月曜日の授業 | 22日(土) 島P連秋季研修会(南風楼) |
| 中学校保護者入試説明会(国見) | 代ゼミマーク模試(~23日) |
| 8日(土) 進研マーク模試(3年 ~9日) | 25日(火) 期末考査(2年 ~28日) |
| 県新人戦(レスリング会場) | 29日(土) 土曜講座(2・3年) |
| 10日(月) あいさつ運動(~14日) | |



センター試験まであと100日を切りました。3年生は必死に受験勉強に励んでいます。推薦入試やAO入試で一足先に本番を迎えている生徒もおり、それぞれが進路実現に向けた正念場を迎えています。1・2年生からは応援メッセージの色紙が、PTAからはしおりと千羽鶴が手渡されました。



各クラス代表者の挨拶では、迫る受験への不安を語る生徒も少なくありませんでしたが、全国の高校3年生が同じ気持ちでいることでしょうか。しかし、不安がっているばかりでは時間だけが過ぎていきます。受験日当日、「これだけやったんだから大丈夫」と自分を信じられるように、一日一日を大切に、今できることを一つずつ積み重ねていってほしいと思います。

各種表彰

【剣道部】

第69回国民体育大会剣道競技
少年男子 第1位(長崎県)
少年女子 第1位(長崎県)

【弓道部】

第69回国民体育大会弓道競技
遠的少年男子 第8位(長崎県)

【レスリング部】

第69回国民体育大会レスリング競技
少年男子フリースタイル 50kg級
第5位 岡田 幹大(3年)
成年男子フリースタイル 97kg級
第1位 松本 岬(スポーツ専門員)
成年男子フリースタイル 125kg級
第1位 馬場 貴大(スポーツ専門員)

【文芸部】

平成26年度長崎県高等学校総合文化祭
演劇部門中地区大会(第31回中地区高等学校演劇発表会)
優良賞

【第4回校内読書感想文コンクール】

最優秀賞 早稲田 真未(2年)
優秀賞 入江 美帆(1年) 堤 麻衣子(2年)
優良賞 園田 悠美子(2年) 本多 遼成(2年)
植木 捺愛(1年)

がんばらば国体お疲れ様でした!



島高生は
競技補助員と
しても活躍!



この秋も、本校理数科の特徴である実習や研修旅行が行われました。

理数科1年生は「有家川の水質調査」、2年生は「県立大学シーボルト校との連携講座」に参加し(ともに9/10<水>)、専門の先生方のご指導により、科学的なものの見方や考え方について学びを深めました。



環境教育と有家川の水質調査



【生徒感想より】

- ・最初はどこを探せばいいかわかりませんでしたが、石を返してみるとたくさんの水生生物をとることができました。水生生物の中には似ているものもありますが、見分け方を教えてもらいながら観察できて、とてもいい経験になりました。
- ・水生生物を調べることで、川の水質が簡単に分かることに驚きました。また、調べた有家川の水質が「ややきれいな水」だったのでうれしかったです。私は有家に住んでいるので洗剤をあまり流さないようにするなどして、自分の地域の川を守っていきたく思います。このように自分の地域の川を守ろうと思えたのも、この水質調査のおかげです。生物と川のバランスを保つためには、人間も注意していかなければいけないことが多いです。しっかり守っていきたくです。
- ・小さい頃はよく川へ行ったりしていたけれど、最近はそんなこともなく、水生生物に関して勉強することなど全くなかった。川の中での調査はとても楽しかったです。

【生徒感想より】

- ・食品の発酵に利用される身近なカビを見た。どれも同じように見えていたカビにもいろいろな種類があり、それぞれに個性があることがわかって興味がわいた。食品以外にも、身の回りにはたくさんのカビが存在し、ひとくりにされて嫌われがちだが、種類ごとに個性と面白さを見出していけば、楽しめるようになるかもしれないと思った。見方を変えることで、日常がさらに面白く感じられそうである。また、無菌操作体験も勉強になった。菌が混ざらないようにするため、使った道具はその都度殺菌をする。正確なデータを得るために、こういった習慣をつけておかなければならないと思った。
- ・ラットの臓器を見てみると、発達している臓器が人間とは違って驚いた。特に盲腸が大きくなっていて、ラットの肝臓を取り出して観察した。自由摂食をしたラットは常に肝臓にグリコーゲンが余っていたが、制限摂食をしたラットはグリコーゲンが少ない。さらに、絶食した後、自由摂食をしたラットは大量のグリコーゲンが急に入ってくるため、たくさん蓄えられるということがわかった。また、朝食をとる意義がそれぞれの栄養にあることを知った。朝食の重要性がわかったので、これからはしっかりと意識して食べるようにしたい。



カビの観察や、ラットの解剖実験をしました。



県立大学シーボルト校との連携講座



たかい たかすい!

家庭科保育分野の授業の一環として「乳幼児ふれあい体験」を実施中です。赤ちゃん・お母さんボランティアの方々にご協力いただき、生徒たちは赤ちゃんとのふれあい体験を通して命の大切さを実感しています。また、全員が妊婦体験をすることにより、自分が生まれた時のことを思い馳せたり、「将来、自分が親になった時は…」と考える機会になったようです。



恥ずかしい?

【生徒感想より】

- 赤ちゃんを抱っこしたのは初めてだった。首がすわっていないだったので、首を支えながら落とさないように大切に抱っこした。僕が抱っこしても泣かず、暴れずにいてくれたので安心できたととても嬉しかった。(男子)
- 赤ちゃんがお腹にいる時の写真を見て、あんなに小さかったのにこんなに大きくなるんだと思って涙が出た。この体験で、命があることが素晴らしいことなんだと教えてもらった。(女子)
- 僕は妊婦体験などを男性がして意味があるのかと疑問に思っていた。でも体験してみたら妊婦さんがどれだけ辛いのかよく分かった。将来奥さんができて子どもが生まれたら、できるだけ自分から積極的に手伝うようにしたい。(男子)
- 私のお母さんも私を生んで育てるのにとても苦労したんだろうと思った。この体験を通してお母さんへの感謝の気持ちが強まった。これから沢山親孝行をしていきたい。そして、自分が将来、結婚して子どもが生まれた時には、今回の体験で得たことを参考にしながらいい母親になりたい。(女子)
- 妊婦体験では母親がお腹に赤ちゃんを抱えているときの気持ちが少しだけ分かった気がした。意外と重くて、あれがずっとついていると大変だろうなと思った。だけど、そのぶんだけ赤ちゃんが成長していく様子を一番身近に感じられるんだろうとも思った。(男子)



妊婦さんって大変!



平成26年度島原地区高等学校・特別支援学校PTA連合会秋季研修会が開催されます

11月22日(土) 14:00~(受付:13:20) ホテル南風楼において
 長崎大学地域教育連携・支援センターの江頭副センター長(元県教育次長)による講演や、パネルディスカッションなどが行われます。
 詳細・出欠につきましては10月10日にプリントを配付しておりますのでご確認ください。多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

